

## 主題：三一の神が三部分から成る人に命となる

### メッセージ 6

ローマ人への手紙における深い、神聖な思想と、命としての三一の神を三部分から成る人の中へと分与すること

聖書：ローマ 1:3-4. 8:2-3, 6, 10-11. 9:21, 23. 10:13. 12:4-5

I. ローマ人への手紙において、深い、神聖な思想があります——8:3. 1:3-4. 12:4-5:

A. ローマ人への手紙における深い思想とは、神が人と成ったのは、罪人たちが神の全体的な救いにおいて、贖われ、再生され、聖別され、更新され、造り変えられ、同形化され、栄光化されて神の子たちとなるということです。彼らは命と性質において神と同じであり、キリストのからだの肢体です—— 8:3. 1:3-4. 3:24. 5:10. 8:14, 29-30. 12:2, 4-5:

1. 神はご自身の御子を罪の肉の形で遣わし、肉において罪を罪定めされました。それは罪人たち、すなわち、蛇の存在、悪魔の子供たちが神に和解させられ、神によって義とされ、永遠の命を受け入れることによって、神の子供たちとなるためです—— 8:3, 16。
2. わたしたちの主であるイエス・キリストは、肉によればダビデの子孫から生まれ、聖別の霊によれば、死人の復活から、神の御子と明示されました—— 1:3-4。
3. 神の長子、最初の神・人は、多くの神・人を生み出すための原型であり、多くの神・人は、キリストのからだの肢体として、長子と全く同じです—— 8:14, 29。
4. 神の救いの目的は、キリストを無数の信者たちの中に複製することです。それは彼らがキリストのからだの肢体となるためです—— 12:4-5。
5. 三一の神を命として三部分から成る人の中へと神性において分与することによって遂行される、神の有機的な救いを通して、神の子供たちは命において成長して、その霊によって導かれる神の子たちとなります—— 5:10. 8:2, 6, 10-11, 14。
6. 神の御子、神の長子としてのキリストの多くの兄弟たちは、キリストのからだの肢体です—— 12:4-5。

B. わたしたちはキリストとの有機的な結合において一つからだです—— 4-5 節:

1. 神のみこころは、キリストのためにからだを得て、彼の豊満、彼の表現とさせることです——啓 4:11. エペソ 1:5, 9. ローマ 12:2, 4-5。
2. わたしたちはキリストの中で一つからだであり、彼との有機的な結合を持っています。この結合は命においてわたしたちをキリストと一とし、またキリストのからだの他の肢体たちと一とします—— 4-5 節。

- a. からだは有機体であり、わたしたちがキリストの中で持つ命における結合によって生み出されます——ヨハネ 15:1。
  - b. からだはキリストとの有機的な結合において保持されます。からだの実際はキリストとの有機的な結合の中にとどまることです——ローマ 12:4-5。
3. わたしたちがキリストのからだの実際の中に生きようとするなら、接ぎ木された生活、すなわち、二者が共に結合され、成長する生活をする必要があります——6:5. 11:17。

II. 神聖な意図は、ローマ人への手紙における深く神聖な思想において伝えられているように、命としての三一の神の神聖な分与が三部分から成る人の中へと入ることによって遂行されます——8:2, 6, 10-11 :

A. 三一の神が三部分から成る人を創造して生ける器とし、命としての彼を内容とするようにさせたのは、彼がご自身を人性の中で表現するためです——創 1:26.

2:7. ローマ 9:21, 23 :

1. 人が神のかたちに創造されたのは、神を命として受け入れ、命としての神を内容とし、命の中で神の複製また複写となるためです——創 1:26. 2:7, 9. ヨハネ 12:24。
2. 神は、人が神を受け入れ神と一になることができるような方法で、人を創造しました——II コリント 4:7。
3. 聖書の基本的な教えは、わたしたちが神のかたちに創造された器であり、それはわたしたちの唯一の内容としての神を受け入れ、内容とするためであるということです——創 2:7. II コリント 4:7. ローマ 9:21, 23 :

a. わたしたちは主に開いた器となって、絶えず神聖な分与を受ける必要があります。もしその器が開いているなら、神はご自身の定められた御旨を成就することができますが、もしその器が閉じているなら、神の定められた御旨は妨げられます——II コリント 13:14。

b. わたしたちは主を愛し、自分自身を彼に開き続けて、彼にあらゆる機会を与え、彼の行ないたいあらゆる事を行なっていただく必要があります——マルコ 12:30. I コリント 2:9. エペソ 3:16-17 前半。

B. ローマ第 8 章は、どのように三一の神（父、子、霊）がご自身を命としてわたしたちの三部分から成る存在（霊、魂、体）の中へと分与して、わたしたちを彼の子たちとし、キリストのからだを構成するかを、わたしたちに明らかにしています——2, 6, 10-11 節 :

1. わたしたちは 11 節に、三一の神、彼の分与のために必要な手順、彼ご自身を命として信者たちの中へと分与することを持ちます。
2. 三一の神が命として分与されることを通して、わたしたちの霊は命です——10 節。
3. 三一の神が命として分与されることを通して、わたしたちの魂（思いで代表される）は命となります——6 節。
4. 三一の神が命として分与されることを通して、内住の霊はわたしたちの死ぬ

べき体に命を与えます—— 11 節。

C. 三一の神が命としてわたしたちの三部分から成る存在の中へと分与されることを経験する道は、主の御名を呼び求めることです—— 10:9-13 :

1. クリスマン生活の中で、主に開き主の御名を呼び求めることによって、その霊を絶えず受けること以上に重要なものではありません——ガラテヤ 3:2, 5。
1. その霊はわたしたちが呼吸する天的な空気です。わたしたちの霊を活用して主の御名を呼び求めることによって、わたしたちはその霊を吸い込み、それによってその霊を受けて、三一の神が命としてわたしたちの三部分から成る存在の中へと分与されることを経験します——ヨハネ 20:22. ガラテヤ 3:2. I テサロニケ 5:17。

© 2013 *Living Stream Ministry*